

ゆうちょダイレクトにおけるセキュリティ対策への取組状況

- 1 「EV SSL サーバ証明書」の導入（導入時期：2008年5月）

「EV SSL サーバ証明書」とは、全世界標準の厳格な統一基準により発行される電子証明書です。このサービスにより、ゆうちょダイレクトのWebサイトを表示した際、ブラウザのアドレスバーが緑に変わり、サイト運営者名などが表示されるため、偽のWebサイト（フィッシングサイト）との判別が可能となっています。
- 2 フィッシングサイトの迅速な閉鎖に向けた体制整備（導入時期：2008年6月）

「RSA FraudAction」※1の採用により、24時間、365日体制で国内外のフィッシングサイトを迅速に閉鎖できる体制となっています。
- 3 「トロイの木馬※2対策サービス」の導入（導入時期：2010年4月）

「RSA FraudAction® Anti-Trojan Service トロイの木馬対策サービス」の導入により、「トロイの木馬」の検知と不正サイトの閉鎖を行い、「トロイの木馬」を悪用した金銭詐欺の防止やお客さまの個人情報等の流出への対処が可能になっています。
- 4 「リスクベース認証」の導入（導入時期：2010年8月）

お客さまが、利用されている環境を総合的に分析し、不正利用の懸念があるアクセスを検知した場合に、「合言葉」による追加認証を行います。

サービス（登録）開始日はお客さま番号の下1桁の数字に該当する日時以降で、最初のログイン時に「合言葉」と「画像」をご登録いただいた後から利用可能になります。

 - ・【0~1のお客さま】 2010年8月4日（水）午前0時5分から
 - ・【2~4のお客さま】 2010年8月12日（木）午前0時5分から
 - ・【5~7のお客さま】 2010年8月19日（木）午前0時5分から
 - ・【8~9のお客さま】 2010年8月26日（木）午前0時5分から
- 5 「選択した画像」の表示（導入時期：2010年8月）

事前に画像登録画面に表示される画像の中からお客さま自身に選択していただいた画像を登録し、次回からログインパスワード入力画面上に表示することにより、正規のゆうちょダイレクトログイン画面であることが簡単に確認できるようになります。

なお、サービス（登録）開始日はリスクベース認証のサービス（登録）開始日と同日となります。

※1 RSA 及び FraudAction は RSA Security Inc. の登録商標です。

※2 「トロイの木馬」とは、正規のソフトウェアであると正体を偽ってコンピュータに仕掛けられるプログラムの総称です。

「トロイの木馬」が仕組まれたサイトを閲覧しただけでも感染してしまうことがあり、感染するとインターネットバンキングのID情報等が盗み取られ、金銭が窃取されてしまうこともあります。